

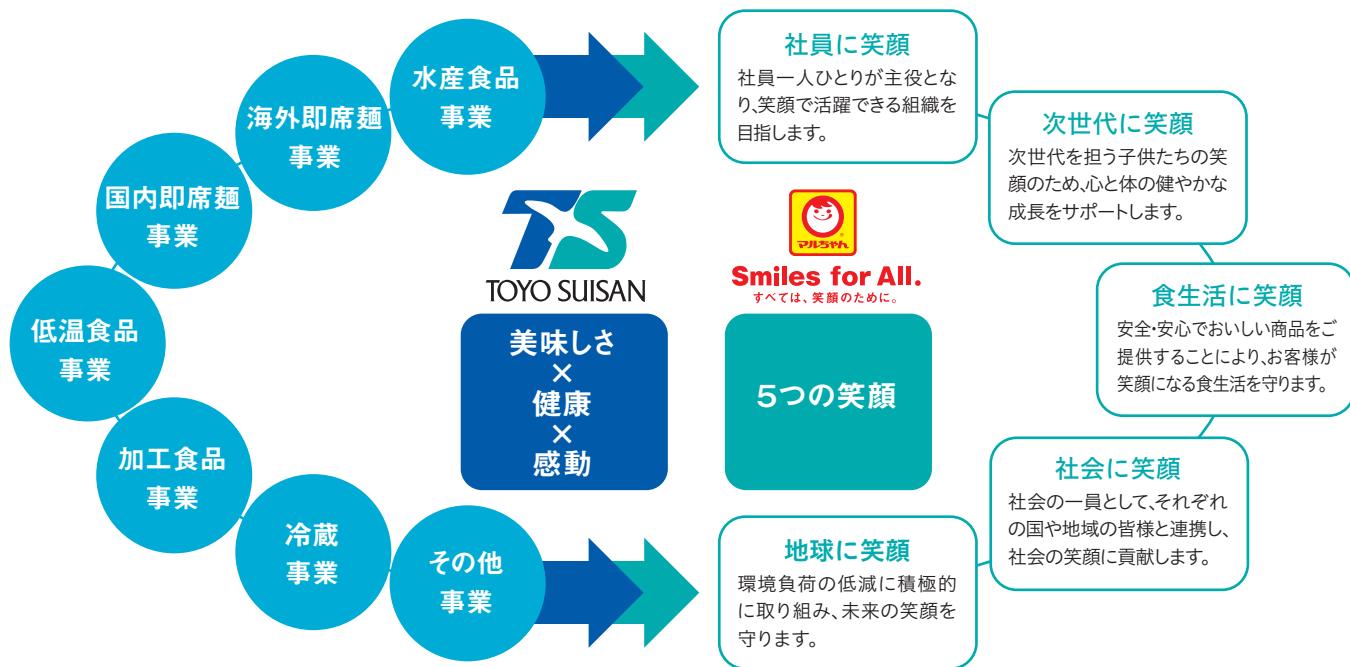
「笑顔」が連想できる企業グループを目指して Smiles for All. すべては、笑顔のために。

東洋水産グループは、創業以来の精神「やる気と誠意」を胸に、事業を通じて社会に貢献することを目指してまいりました。企業スローガン「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」には、「食を通じ、みなさまに笑顔をお届けしたい」という私たちの願いが込められています。このスローガンを達成するための重点テーマとして、「5つの笑顔」の実現に取り組んでまいります。

中期経営計画の策定

「5つの笑顔」を実現するためには、企業価値の持続的な向上が欠かせません。目まぐるしく変化する経営環境に対応するために、2016年度からの3カ年期経営計画を策定しました。次の4つの基本戦略を実行することで、「笑顔」が連想できる企業グループを目指します。

事業を通じ「5つの笑顔」の実現を目指します



1. カテゴリーNo.1商品の育成

ロングセラー商品の継続的な品質向上・改善を行うことで、将来にわたりお客様に満足感をご提供します。また、今までにない感動・品質を実現する新商品を発売することで、新たな食文化の創造を目指します。さらには、多様なニーズに対応したカテゴリー別・エリア別の戦略により、シェアアップを図ります。

2. 海外展開の加速

アメリカ及びメキシコにおいては、外部環境の変化に適応した施策により市場拡大を図ります。また、中南米地域では、各国別の戦略により市場開拓を進めます。インド・ナイジェリアでの即席麺事業は、現地生産体制による、既存品と差別化した商品の開発・販売を開始します。

3. 事業の選択・集中・連携

伸長が期待できるカテゴリーへの積極的な設備投資や生産体制の再構築を進めます。一方、低収益のカテゴリーについては、付加価値商品の開発や原価低減、生産性の向上などに取り組みます。また、食に関して幅広く事業を展開している強みをさらに活かすため、グループ全体の連携を深めます。

4. 経営基盤の進化

品質保証体制の強化やガバナンスの向上、ダイバーシティやCSR活動の推進に優先的に取り組み、組織力・人材力を強化します。

当社グループでは、これからも長く皆様に愛され、すべてのステークホルダーのニーズにお応えできるよう、4つの基本戦略に取り組んでまいります。



代表取締役社長

今村 将也

東洋水産グループ 3か年中期経営計画 (2016年度～2018年度)

2018年度経営指標目標

売上高	4,300億円
営業利益	305億円
売上高営業利益率	7.1%
経常利益	315億円